

第1学年 特別の教科 道徳 学習指導案

日 時：令和元年11月12日（火）5校時
学 級：1年A組（男子8名，女子7名，計15名）
授業者：岩 淵 知 也

1. 主題名 よりよい学校生活，集団生活の充実 【C-（15）】

2. 教材名 選手に選ばれて（出典：新しい道徳1 出版：東京書籍）

3. 主題設定の理由

（1）価値について

本授業は，中学校学習指導要領における指導内容項目C-（15）「教師や学校の人々を敬愛し，学級や学校の一員としての自覚をもち，協力し合ってよりよい校風をつくるとともに，様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること」に基づいて指導するものである。

人間は，他の人間と関係をもち集団をつくり上げ，様々な集団や社会の一員として生活している。それぞれ目標や立場が異なる集団に所属しながら，共同して日々の生活を営んでいる。人が，それぞれの集団の一員としてよりよく生きていくためには，自分の所属する集団の意義や目指す目的を十分に理解し，自分の役割と責任を果たし集団生活の充実に努めることが大切である。

中学1年生のこの時期には，自己中心的な考えをもってしまうこともある。集団の在り方について多面的・多角的に考え，様々な行事などを通して集団生活の充実と自己の資質・能力の向上に努めようとする姿勢が今後求められていく。

そこで，本授業では，教材をとおし，学級の目指す目的を十分に理解させるとともに，集団の在り方を考えることで，集団生活の向上に努める内容を取り扱う。

（2）生徒について

本学級の生徒は，3つの小学校から集まってきている。小学校高学年の時には集合学習を通し，共に学び，交流を図ってきた。そのため，入学当初から，多くの生徒が，明るく笑顔にあふれた中学校生活を送ることができている。4月に入学してからこれまで，体育祭や文化祭などの活動に取り組んできたが，仲間と協力し合い行事の成功に向けて励むことができている。

本学級には，集団を優先させて考えることができる生徒がいる一方，自己中心的な考えをもつ生徒もいる。そのため，教師が時間をかけて心を合わせて努力しようという雰囲気を作ることで，集団で何かをやり遂げたという達成感を大きく感じることができる学級である。

（3）教材について

本教材は，体育祭のクラス対抗リレーに出場する選手を選ぶための学級活動の時間の話である。

主人公であるA君は，リレーの選手を選ぶ選挙で一方向的にリレーの選手に選ばれる。しかし，勉強に専念するため「今年は絶対に出ない。」と異議を申し立てる。それに対して学級のみんなは，「選挙で決まった以上義務がある。」「個人のことと学級のこととどちらが大切か。」と訴える。主人公のA君は「学級のこと大切だが個人の気持ちも大切にしてほしい。」と訴えるところで，話は終わる。

生徒にとって，本教材は，登場人物の気持ちに共感しやすい内容であることから，集団の在り方について多面的・多角的に考えたり，道徳的価値の理解を自分自身との関りの中で深めたりすることができる教材であると考えられる。

4. 研究主題との関連

本校の研究主題である，問題解決的な学習を通して，集団生活の充実に努めようとする道徳的心情を育てていく。

導入では，アンケート結果を用いることで，教材に対する考えと道徳的価値を含むテーマを結び付ける。展開前段の「発見」では，登場人物の行動を整理し，A君と学級のみんなの話合いについて考えさせ，集団の在り方について道徳的な問題を把握する。展開中段の「構想」では，発見場面で見つけた道徳的な問題について解決策を考える。展開後段の「深化」では，構想で考えて記入した学習シートを基にグループで意見交換することで，自分とは異なる意見に触れて考えを広げ，その場面における解決策について考察

を深める。グループでの協議を通して、学校での集団生活のより具体的な理解や解決策の発見につなげていきたい。終末では、もう一度自分自身を見つめ直すことで、日常的な道徳的実践へと結び付けていきたい。

5. 他の教育活動との関連

- ・国語科『集まって住む』『学校新聞の記事を書こう』
- ・音楽科『表現：歌唱，合唱』
- ・復興教育『仲間や地域の人たちとのつながり』

6. 本時について

(1) ねらい

日々の生活を営んでいる学級の一員として、学級の在り方を考え、協力し合い、学級生活の向上に努めようとする道徳的心情を育てる。

(2) 本時の指導の構想

事前にアンケート調査を行う。アンケートの内容は、「集団の中で、役割を押し付けられたと感じたことはありますか。」とする。その結果は<①動機付け>や<②発見>で活用する。また、教材文は、事前に教師が範読し、教材の内容について確認する。

<動機付け>
導入では、アンケート結果を用いることで、今までにA君と同じ様な体験があるかどうか、生徒の経験を振り返らせる。そして、道徳的価値を含むテーマに結び付けていく。
<発見>
展開前段の「発見」では、登場人物の行動を整理する。A君と学級のみんな、お互いのことをどう思っているのかについて考えさせ、集団の在り方について道徳的な問題を把握する。
<構想>
展開中段の「構想」では、発見場面で見つけた道徳的な問題について、解決策を考える。「A君と学級のみんなは、選挙をする前にどうすれば良かったのだろうか。」ということについて個人で考える。そして、理由も含めて考えをまとめさせ、「深化」でのグループ協議につなげられるようにする。
<深化>
展開後段の「深化」では、その場面における解決策について学級全体で考察を深める。「構想」で考えた「A君と学級のみんなは、選挙をする前にどうすれば良かったのだろうか。」について全体で交流する。具体的な理解や解決策の発見のためにキーワードなども考えさせ、よりよい集団になるために必要なことを考える充実した活動にしていきたい。
<振り返り>
①評価の視点 自分を大切にしながらも、自らの所属する集団の目的や意義を理解し、集団の在り方について多面的・多角的に考えて、集団生活の充実と自己の資質・能力の向上に努めようとしている。
②生徒の記述例 ・相手のことを理解しようとする気持ちが大切だと思った。 ・押し付けにならないように、決めなければならないと思った。 ・何か役割をやる人が決まったら、その人を助けてあげることが大切だと思った。

(3) 本時の展開

	学習活動と主な発問 (○)	予想される生徒の反応 (・)	指導上の留意点
導入 5分	<p><①動機付け></p> <p>1. 事前アンケート結果を確認する。 ○集団の中で、役割を押し付けられたと感じたことはありますか。</p> <p>①役割を押し付けられたと感じた体験がかなりある／すこしある／あまりない／全くない</p> <p>②「かなりある」「すこしある」と答えた人</p>	<p>①</p> <p>・「ある」「すこしある」○人／「あまりない」「全くない」○人</p> <p>②</p> <p>・学級の役員や児童会をやりたいけど、嫌々引き受けた。 ・やりたいもないのに、1人で掃除をやらされ、悲しい気持ちになった。</p>	<p>・パワーポイントを使用する。</p> <p>・事前アンケート結果を用いることで、これまでの生徒の経験を振り返らせ、道徳的価値への関心を高める。</p>

	<p>どのような体験か。どのような気持ちだったか。</p> <p>③「あまりない」「全くない」と答えた人 もしも、自分がそのような体験をしたら、どのような気持ちになるだろうか。</p> <p>○今日は、この学級がよりよい集団になるために、何が大切なのか考えていこう。</p> <p>2. テーマを確認する。</p>	<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分も他にやりたいことがあるのに、なぜ分かってくれないのだろう。悲しい。 なぜ、そこまできつく言われなければならないのか。嫌な気持ちになる。 	<ul style="list-style-type: none"> テーマへつなぐ発問をすることで生徒に問題意識をもたせる。
よりよい集団になるために大切なことは			
<p>展開</p> <p>35分</p>	<p><②発見></p> <p>3 教材を読み、出来事の問題点を整理する。</p> <p>○A君と学級のみんな、お互いのことをどう思っているのだろうか。</p> <p><③構想></p> <p>4 A君と学級のみんなの話合いについて、自分なりの考えをもつ。(個人)</p> <p>◎A君と学級のみんなは、選挙をする前にどうすれば良かったのだろうか。</p> <p><④深化></p> <p>5 全体で考えを広げる。</p> <p>○A君と学級のみんなは、選挙をする前にどうすれば良かったのだろうか。(グループ→全体)</p> <p>※<構想>で考えたことを、グループでまとめる。</p>	<p>① (A君)</p> <ul style="list-style-type: none"> リレーの選手になるのがいや。 →成績が悪く、母親に言われた。陸上部も辞めた。 勝手に選手に決められた。 →選挙はしたけど、勝手に決まった。自分の気持ちを無視されている。 <p>② (学級のみんな)</p> <ul style="list-style-type: none"> 選挙で決まった以上、出てほしい。 →A君は短距離が速いから。リレーで勝ちたいから。 体育祭はみんなに関わること。 →勉強は個人の責任だから。 <p>(A君)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちを伝える。 →みんなにしっかりと伝えていないから。 選ばれた時の練習の仕方を提案する。 →放課後は塾があるから。 先生に相談する。 →自分の気持ちを伝えることができるから。 <p>(学級のみんな)</p> <ul style="list-style-type: none"> A君に「やってほしい」と選挙の前に伝えておく。 →A君の事情を知れるから。 投票の前に立候補をとる。 →A君の意思を確認することができるから。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙板書を使用する。 出来事の問題意識を共有させる。 A君と学級のみんなの「思いのズレ」に気付かせる。 ワークシートに自分の考えを書かせる。 学級全体で話し合うことで、解決策を練り上げるようにする。 グループ交流を通して、他者の意見から様々な考えがあることに気付かせる。 追質問を行い、生徒の考えを深く掘り下げていく。

		<ul style="list-style-type: none"> 候補者をたくさん挙げておく。 →やることができない人がいるかもしれないから。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いながら、道徳的価値の理解を深めていけるようにする。
終末	<p><⑤振り返り></p> <p>6. 課題に戻り，振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相手のことを理解しようとする気持ちが大切だと思った。 押し付けにならないように，決めなければならないと思った。 何か役割をやる人が決まったら，その人を助けてあげることが大切だと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の課題に戻り，自分と異なる考えに出会うことの大切さに触れて，自分の学校生活・集団生活に生かせるようにまとめる。 学習について，自分なりの考えをもつことで，道徳的実践意欲と態度に結び付くようにする。
10分	7. 振り返りを共有する。		

(4) 板書計画

第二十三回 道徳

よりよい集団になるために大切なことは
選手に選ばれて

◎A君と学級みんなは、選挙をする前にどうすれば良かったのだろうか。

A君

- ・リレーの選手になるのがいや。
- ↓成績が悪く，母親に言われた。陸上部も辞めた。
- ・勝手に選手に決められた。
- ↓選挙はしたけど，勝手に決まった。自分の気持ちを無視されている。

学級のみんな

- ・選挙で決まった以上，出てほしい。
- ↓A君は短距離が速いから。リレーで勝ちたいから。
- ・体育祭はみんなに関わること。勉強は個人の責任だから。

・伝えることでA君を支えやすくなる。

1班	学級のみんな
A君	
2班	学級のみんな
A君	
3班	学級のみんな
A君	

思いのズレ

第23回 道徳 選手に選ばれて

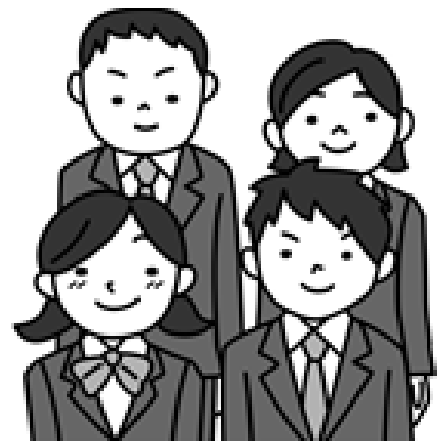
1年A組 番 名前

テーマ

よりよい集団になるために大切なことは

◎A君と学級のみんなは、選挙をする前にどうすれば良かったのだろうか。

(A君)	(その理由)
(学級のみんな)	(その理由)



第23回 道徳 アンケート
1年A組 番 名前

Q1：集団の中で、役割を押し付けられたと感じたことはありますか。(当てはまるものに○を付ける)
かなりある すこしある あまりない 全くない

Q2：「かなりある」または「すこしある」と答えた人におたずねします。それはどのような体験で、その時どのような気持ちになりましたか。

(どのような体験)	(どのような気持ち)
-----------	------------

Q3：「あまりない」または「全くない」と答えた人におたずねします。もしも、自分がそのような体験をしたら、どのような気持ちになりますか。

(どのような気持ち)

第23回 道徳 アンケート
1年A組 番 名前

Q1：集団の中で、役割を押し付けられたと感じたことはありますか。(当てはまるものに○を付ける)
かなりある すこしある あまりない 全くない

Q2：「かなりある」または「すこしある」と答えた人におたずねします。それはどのような体験で、その時どのような気持ちになりましたか。

(どのような体験)	(どのような気持ち)
-----------	------------

Q3：「あまりない」または「全くない」と答えた人におたずねします。もしも、自分がそのような体験をしたら、どのような気持ちになりますか。

(どのような気持ち)
